

## 流域デジタル水防システムを活用した水防訓練を実施

燕市消防団では、毎年5月、出水期を迎える前に水防技術の習得・向上を目的として水防訓練を実施していますが、今年はデジタル水防システムを活用した、より実践的な訓練を行いました。

訓練は大河津可動堰上流の右岸河川敷において、水防工法に必要な資材を水防倉庫から搬出するところから始まり、発災現場で積み土のう工を実施し、最終的には資材を回収して水防倉庫へ返却するまでの一連の流れで行いました。

また、仮想の災害対策本部と消防団との間でデジタル水防システムを使用し、消防団員の位置情報や現場の活動状況、現場写真などを共有することにより、「誰が、どこで、何をしているのか」を災害対策本部がリアルタイムで把握でき、消防団員の安全確保や円滑な活動に繋がることを確認しました。

